

命と暮らしを守る予算を求め、市民と党市議団の提案が前進

千葉市議会第1回定例会は2月18日から3月17日まで開催され、新年度予算案への質疑や審査を行い、市民にやさしい市政の実現に向け奮闘しました。



台風等の被害を防ぐため屋根の診断助成を実施

特養老人ホーム250床分整備へ

公園トイレ改善・身近な公園トイレの洋式化

子どもの虐待対策・児童相談所2所体制へ

新児童相談所に向けた基本計画も策定



市民の命まもる保健所、災害対応職員の充実



議会質問・提案・発言する日本共産党千葉市議団

福祉カットの中止、不要不急の大型開発見直し 市民生活優先の予算に組み替えるよう提案

千葉市の新年度予算は、国民健康保険料値上げや子どもの医療費調剤薬局窓口の自己負担の継続など、市民に負担を押し付ける予算であり、地方自治法の本旨である「住民の福祉の増進を図る」という視点が欠けており、真に支援が必要な福祉を削っています。党市議団は予算の組み替えを提案し、市長提案の予算には反対しました。

千葉公園体育館整備
中央公園・通町公園連結強化
千葉駅東口市街地再開発
新庁舎整備 など9事業

188億円

5億
8千万円

心身障害者福祉手当の復活
在宅介護オムツ支給
所得制限なし
子どもの医療費助成制度
調剤薬局の窓口負担なし
など

新年度の大型開発予算のわずか**3%**で、前年度に引き続く福祉カットをやめ、元に戻せます。

新型コロナワクチン3回目の接種急ぎ、子どもや希望する市民にPCR検査を！

学校配付の抗原検査キットほとんど使用されず廃棄

小中学校の教職員向けに配付された抗原検査キットの活用は、3,670回分配付したものの9回しか活用がなく、「使用期限があり廃棄した」と、市は驚愕の答弁。

党市議団は学校内感染状況の報告改善などを市長に求め、市長は「学校全体の陽性者数を1週間に一度、保護者に報告することとした」と答え、改善されました。



ロシアのウクライナ侵略に抗議

千葉市議会は全会一致で非難決議を採択

党市議団は、代表質疑でロシアのウクライナ侵略に抗議する表明を行い、市議会はすべての会派が一致してロシア・プーチン政権への非難と、解決を求め、決議を採択しました。

千葉市ではウクライナ難民への支援のため、住宅確保支援やワンストップ相談窓口を設置しています。詳しくは「千葉市国際交流協会」(245-5750)まで

他会派は、「プラスチック製容器包装の分別処理・再資源化を求める請願」と、「CO₂排出抑制を企業に要請するよう求める請願」を不採択

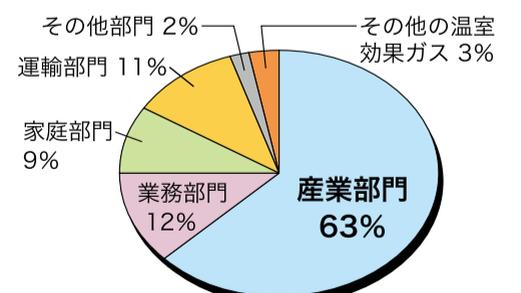
日本共産党は実施を迫る



プラスチック製容器包装の分別処理・再資源化していないのは政令市では千葉市と静岡市だけです。

他会派は「重要な課題」としつつも反対。再資源化の否定は、地球温暖化対策に逆行するものです。

気候危機は世界的課題です。市内で最大の温室効果ガス排出源である電力・産業部門の削減は待ったなしです。千葉市が削減に向けた厳しい目標を掲げて、排出削減を企業に要請すべきです。



市内の温室効果ガス排出量の割合(2017年度)